

これからの地域に求められる 公共施設ってどんなかたちですか？

人口縮小・高齢化・税収減のすむ

地域社会において、これからの公共施設はどのようにあるべきでしょうか。

今回は、自治体と地域、そしてアーティストや市民団体が手を取り合って文化を盛り上げていく、そんな活動に関わる人たちをお招きし、公共施設が社会に対して芸術文化のフィールドだけでなく、教育や地域振興に寄与する可能性について考えます。

Panelists

後藤 正文



NPO法人 アップルビネガー音楽支援機構 理事
ASIAN KUNG-FU GENERATION

1976 年生まれ、静岡県出身。
ロックバンド ASIAN KUNG-FU GENERATION のボーカル&ギター。
ほとんどの楽曲の作詞・作曲を手がける。新しい時代やこれからの社会など私たちの未来を考える新聞『THE FUTURE TIMES』編集長、インディーズレーベル「only in dreams」主宰。

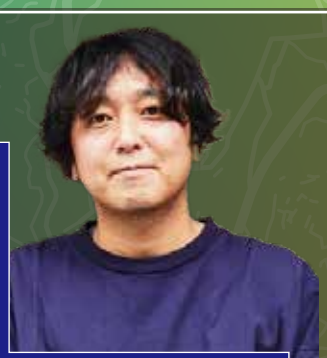
小林 亮介



NPO法人 アップルビネガー音楽支援機構
代表理事

1976 年生まれ、静岡県出身。
ASIAN KUNG-FU GENERATION の後藤正文とは高校時代の同級生。元・静岡県藤枝市職員。
2025 年、後藤が設立した NPO 法人「アップルビネガー音楽支援機構」にて代表理事を務め、地域とアーティストをつなぐ活動を行っている。

柳 光隆



音楽評論家

1979 年、島根県出雲市生まれ。
出雲高校 - 東京学芸大学卒。
珍屋レコード、ディスクユニオンへの勤務を経て、2000 年代末から音楽評論家。DJ・選曲家。昭和音楽大学非常勤講師、ライター講座講師など。ジャズを中心に、ジャンルを問わず幅広い音楽に関するテキストを中心に執筆。音楽やアーティストの分析、シーンの解説だけでなく、教育機関や NPO などによる音楽教育や音楽シーンのエコシステムに関するリサーチ、アフリカ系アメリカ人を中心に植民地主義に関して話を聞く取材などをライフワークにしている。



【NPO 法人 アップルビネガー音楽支援機構】

インディペンデントに活動するミュージシャン・アーティストに対して金銭的、技術的な支援を継続して行う目的で ASIAN KUNG-FU GENERATION 後藤正文が中心となり 2024 年に設立。静岡県藤枝市内に滞在型音楽制作スタジオ「MUSIC inn Fujieda」(2025 年秋頃完成予定)を建設し、同市を拠点に様々な取り組みを企画中。

2025 年 8 月 23 日(土)

17:00 長崎大学 文教スカイホール
(長崎市文教町 1-14)

参加無料・要事前申込

申込はこちら！



文教スカイホールへは、正門入口に入って直進。芝生のあるキャンパスモビルを過ぎた左手のグローバル教育・学生支援棟の4階です。

【長崎大学へのアクセス】

路面電車：「長崎駅前」電停から、「赤迫」行きの1番・3番系統の路面電車で「長崎大学」下車

長崎バス：「長崎駅前」バス停から「時津」「滑石上床」「長与」など1番系統の長崎バスで「長崎大学前」下車

*トークセッションの撮影・録画・録音等は一切禁止です。

*会場に駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

*当日の様子をスタッフが録画・撮影し、広報誌やHP等に掲載する場合がございます。予めご了承ください。

【主催】長崎大学 創楽堂 【共催】長崎市 チトセピアホール 長崎市 北公民館
【共催・お問い合わせ】長崎市 市民活動センター Tel:095-807-6518 <http://www.ncacl.net>